

互いのきずな深め合う

名和中学校日韓親善交流 20 周年



釜山市の 大東中学校との交流

名和中学校の日韓親善交流は今年で20年目を迎えました。この交流ではこれまで400人を超える日韓の中学生がお互いの中学校を訪れ、国際交流の架け橋となりました。

今年は大東中学校を迎えるために国際理解講演会を行い、全校をあげて国際交流への意識を

高めました。また、全校から募集した27人の交流参加生徒と有志の保護者でハンガルの語学研修会を行うなど、交流に向けて準備をしていきました。

共に汗を流し 大山頂上へ！



7月29日に大東中学校一行35人が大山町を訪れ、両校の交流が大山青年の家で始まりしました。初日は20周年記念式典と歓迎式典を行い、町長と船越延子校長の歓迎の言葉、そして大東中学校の黄光珠校長のあいさつをいただいた後、記念品の贈呈や作品交換などを行いました。2日目は大山町のシンボルである大山を登山し、声をかけ

合いながら全員が登りました。夜にはキャンプファイヤーをして親交を深めました。3日目は名和中学校の前庭に釜山市の花のツバキを記念植樹し、3日間の交流活動を終えました。

生徒の感想

＊私は、「こんにちは」「ありがとう」など、少しでもしゃべれるようにと思い交流に臨みました。最初全く話ができなかったけど、大山登山やキャンプファイヤーなどの交流で、身振り手振りを交えてしゃべったりすることができました。

＊印象に残ったことは、大山登山で韓国の人に大山の頂上からの景色を見てもらえたことです。頂上で見る景色はとてもきれいに見えました。

＊外国の人とコミュニケーションがとれると楽しく過ごせたり、会話ができたり、楽しいことがたくさんあると肌で感じました。

叙勲受賞 おめでとうございます

ずいほうそうこうしょう
瑞宝双光章



しげふく みのもる 實さん (88) 大山町御来屋
教育功労 元 公立中学校長

昭和22年に鳥取県地方教官に任命されて以来、中学校教諭、中学校校長として32年間の永きにわたり、知育・徳育・体育の調和のとれた生徒の育成を目指した教育実践と活力ある学校経営に取り組み、学校教育の発展に寄与されました。

また教員退職後は昭和54年から名和町教育長として学校教育・社会教育の推進に努め、教育行政の発展に寄与されるなどの功績が認められたものです。